

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	島根県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	仁多町立仁多中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	1	10	21
生徒数	109	86	105	3	303	

研究の概要

1. 研究主題

自ら楽しく学びながら、自分を表現し、 かかわりの中で価値を見いだす生徒をめざして

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

<p>* 実施学年及び教科を選択した理由を記すこと。 基本的には全学年・全教科で取り組むが、1年生の数学と英語における少人数授業および2・3年生の選択教科を中心とする。 1年生の数学と英語...どちらも生徒の理解の状況に差が出やすい教科であり、1年生のときが、中学校における学習の基礎となることを学習するため。 2・3年生の選択教科...それぞれの教科で、学習の状況に差が出てきている中で、個に応じた指導を充実させていくため。</p>
--

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 年次ごとの研究テーマあるいは研究の主眼となるものを記述すること。 研究の見通し(仮説) 年次ごとの研究の見通しを簡潔に記述すること。 研究の内容・方法 研究内容及び方法の概要を記述すること。 * 昨年度の中間報告書の内容を転記すること。</p>
--------	---

平成15年度	<p>テーマ 読む力(読みとる力)の充実と基本的な知識・技能の習得 研究の見通し 本年度は、上記のテーマを中心に実施、次年度は、これを充実発展させていく。 研究の内容・方法 「読む力(読みとる力)の充実」のために、朝読書を実施している。また、図書室を普段はもとより夏季休業中にも開放した。特に、夏季休業中においては、図書室に何日間か教員を配置することにより、生徒の活動を支援した。「基本的な知識・技能の習得」のために週2～3回程度「自主学習の時間」を設けた。この時間は、各自が自分のペースで学習を進め、基本的な知識・技能の習得に努めた。</p>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 読む力(読みとる力)の充実と基本的な知識・技能の習得を充実させるとともに、「テーマ学習」「学校行事」「選択教科」などの充実を図る。</p> <p>研究の見通し 朝読書・図書室の開放・自主学習の時間については継続して行い、あわせて、「テーマ学習」「学校行事」「選択教科」の内容や方法などについて研究をしていく。</p> <p>研究の内容・方法 それぞれの取組を、学校全体の教育課程における位置づけを明確にしながら、充実させていく。</p>
--------	---

* 平成15年度からの新規校については、平成15、16年度の計画について記入すること。

(3) 研究推進体制

学校全体として取り組むことに重点をおいているため、教科から担当者を出す形ではなく、各学年部から1名の担当者を出してもらい、全体を統括するフロンティアティーチャーとあわせて、4人を中心に研究を進めていっている。

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

本年度前半は、どのような考え方で取り組みまた実践をしていくかについて研究・討議・修正等を職員会議等で行った。そして、後半で少しずつ実践に移っていった。そのため客観的なデータや研究の成果等を記すまでには至っていない。なお、本校での取組の概略ならびに全体構想は、別紙「学力向上フロンティア事業への取組」を参照のこと。

2. 今後の課題

本年度の前半に行った校内における検討等の結果、「確かな学力」の向上を図るためには「単純にこの教科で行う」ということに疑問が生じ、「教育課程全体を考えて行う」という方向で検討・実施してきた。また、基本的な知識や技能を身に付けることが、また、身に付けようとする態度が、「確かな学力」の根本となるものであると考えた。したがって、本年度は、「基本的な知識や技術の習得」に重きを置いた取組となった。今後は、この方向を継続しながら、「テーマ学習」「学校行事」「選択教科」「部活動」などとの関連を考え、教育課程全体を見据えた取組となるようにしていきたい。

学力把握のための学校としての取組

本年度中に、アンケート調査を実施する予定である。内容などについては、検討中である。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

本年度は、HP等で実施していることを公開し、来年度は、説明会または研究会を実施する予定である。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校

【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上

【指導体制】 少人数指導 T.Tによる指導
 その他

【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無

学力向上フロンティア事業への取組

仁多町立仁多中学校

各必修教科において、基礎・基本となる

知識・理解
表現・技能
考え方
学習態度

を、身に付けさせる。

各必修教科において、

思考力、判断力、表現力、課題発見能力
問題解決能力、知識・技能、学ぶ意欲、学び方

の能力を育成する。



これらのことを実現していくために、次のようなことを行う。

<具体的な方策>

- 1 読書活動の一環としての朝読書の実施により、すべての学習の基礎となる「読む力(読みとる力)」の充実を図る。
- 2 各教科においてグループ学習・チームティーチング・少人数授業等を取り入れ、個に応じた指導を充実させる。
- 3 図書室を可能な限り開放することにより、学習をする場・学習をする環境を積極的に提供し、「学び方の習得」「学ぶ意欲の喚起」「学習習慣の定着」を図る。あわせて、「読む力(読みとる力)」の充実を図る。
普段から開放する。
長期休業中においても開放し、教員がつくことにより、生徒の活動を支援する。
- 4 週に2～3回程度「自主学習の時間」を15分程度とることにより、「基礎・基本となる知識や技能などの習得」を図るとともに、「学び方の習得」「学ぶ意欲の喚起」「学習習慣の定着」を図る。
後期において実施する。
各自にこの時間用の学習教材を準備する。
学習の進め方は基本的に各自に任せるが、学年部ではある程度の方向性をたてて取り組む。

